

近況・随筆

土壤地理学のABC

浅海重夫

いま講義を担当している土壤地理学と、IGCターミ
ノロジー部会での仕事を関連させて、たわむれに土壤地
理学のABC (Asami's Brief Comments on Soil Geo-
graphy) なることばの遊びをやってみた。

A: Andosols 日本語(暗土)が国際学術語に採用さ
れた稀な例の1つ。さすがは火山国日本。

B: Brown Forest Soils 中欧の先駆的土壤研究の
産物。本物見るならヨーロッパへ行かなくては。

C: Chernozems ロシア語に由来する黒い土。綿の
生産力が高いが黒さではアンドゾルに敵わぬ。

D: Degraded soils 退化する土壤があるという考え
は、土壤を環境の変化に順応する生き物とみて。

E: Eluvial soils 溶脱をうけた土壤。もっとも土壤
は成分の移動が起るからこそ土壤なのだ。

F: Fossil soils 過去の環境変化を刻印した物的証
拠。第四紀の気候植生や化石人類との対応。

G: Gley soils グライ性症候群。青くなったり赤く
なったり。土壤のお色直しは鉄と水の関係。

H: Humic soils 腐植含量の高い土壤。腐植はCと
Nを次世代の植物に与えるが、多すぎは禁物。

I: Illuvial soils 集積作用の顕著な土壤。溶脱の一
方には集積が起るのが土層内の反応の常。

J: Juvenile soils 幼年土。土壤は生き物。未発達
な段階があるので土層内の層位分化が未成熟。

K: Kaolinsols カオリン鉱物が二次生成物の主格に
なっている。カオリンは結晶質粘土の代表格。

L: Latosols 発達すればラテライト殻が生ずる熱帯
サバナ地域の土壤。地球上での風化の極。

M: Mature soils 熟年に達した土壤。自然界のサイ
クルではこの段階が長期に安定。羨ましい。

N: Normal soils 恐らく普通の気候と植生の下で
生成した規格品。しかし何を以て正常とみるか。

O: Organic soils 泥炭土と黒泥土を有機質土壤と
一括。その他の土壤は無機質土壤として総括。

P: Podzols これぞ土壤型の代表格。タイガの地帯
に対応分布。しかしアマゾン流域でも発見。

Q: Quick soil ようやく探し出したQ-土壤。漂土
と訳すが、地表を浮流する土壤粒子のことか。

R: Red and Yellow soils 赤黄色土。日本に現存
するこの土壤が始めて化石土と判定されて有名に。

S: Salted soils 砂漠の凹地にできた塩類土。塩が
土の中で溶けずに固まるとは環境差を思い知る。

T: Truncated soils 侵食のため首を切られた土壤。
肥沃な表土を断頭台に送った犯人は誰だろう。

U: Upland soils 台地の土壤。台地という地形環境
下で共通な性状をもつ土壤群。便利な用語。

V: Virgin soil 未耕地土壤と訳す。耕作された土
壤は人間の手によって良くも悪くもなった。

W: Warp soils 崩積性沖積土。崖下や崩壊地の末
端にある流下物。まじめに調べたら騙される。

X: ? soil 名もなき未知の土壤。大気のあるよ
その星から来たエーリアンなら知っているかも。

Y: Yellow Brown Forest Soils 最近日本のペド
ロジストの間で論議をかました。やはり日本にも。

Z: Zonal soils 気候や植生と対応して成帯分布を
する土壤群。近代土壤学の原理を生んだ思想。

以上が Actural Basic Conceptions of Soil Geogra-
phy だといいたいけれど、Absurd Brash Chattering
(ばかげた耳ざわりなおしゃべり) と一笑に付されるの
がオチか。

アフリカへの渡し舟

式正英

ザイルやザンビアがアフリカの新興国であることは
知っていても、この2国がどこに位置を占め、どんな関
係にあるかという様な話しになると覚束ない。アフリカ
となると、こうした程度の認識しかないのが普通だろう。

筆者として昨年2月初め、リュージュ大学のアレキサン
ド教授から、10月にルブンバンで開く「熱帯環境」シン
ポジウムへの参加要請の手紙をもらった時には同じよう
な暗闇の状態だった。アフリカには未だ一度も足を踏み